

注意報第4号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿
農業資材販売等関係者

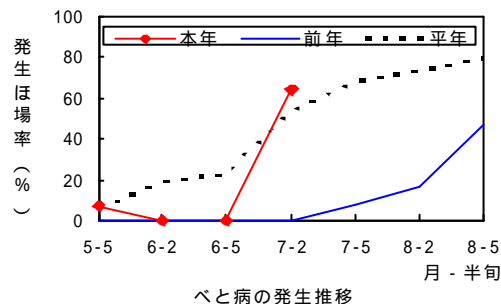
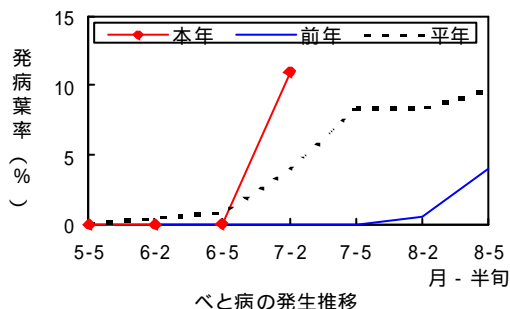
福岡県病虫害防除所長

平成18年度病虫害発生予察注意報第4号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

ブドウ

- 1 病虫害名：べと病
- 2 発生地域：県下全域
- 3 発生予想：多い
- 4 注意報の根拠
(1) 7月2半旬の調査結果、発病葉率は平年より高い。県下で発生が見られ、特に県南地域での発生が多い。
発病葉率 11.0% (平年 3.9%、前年 0%)
発生ほ場率 64.3% (平年 53.7%、前年 0%)



- (2) 福岡管区气象台7月7日付け発表の1ヶ月予報では、気温は平年より高く、降水量及び日照時間は平年並で、平年と同様に期間のはじめは曇りや雨の日が多いと予想されている。
 - (3) 本病は、気温が20～24で、雨が多く、湿度が高いと多発しやすい。夏期高温時にも展葉中の若い葉があれば感染発病する。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 発病後の防除は、効果が低いため予防散布を徹底する。
 - (2) 罹病葉は感染源となるので極力除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
 - (3) 雨後の乾燥をはかるため、通風採光をよくする。
 - (4) ボルドー液散布の場合、降雨の後や散布直後の降雨等によって薬害が発生しやすいので注意する。
 - (5) 薬剤防除に当たっては、農薬使用基準(適用作物、使用量、希釈倍数、使用時期、総使用回数)を遵守する。
 - (6) 薬剤の散布に当たっては、極力風の無い時に行い風向きに注意する。また、適正な防除圧で、飛散の少ないノズルを使用する等周辺作物への飛散防止の徹底を図る。